



▲綺麗な紅葉をバックに六十里越で記念撮影



▲天気も良くとても楽しそうです



▲自転車を只見線で輸用する参加者の皆さん

南 只見の秋を自転車で楽しむ 会津・只見 紅葉サイクリング

10月25～26日、JR只見線・利用促進応援事業として南会津・只見紅葉サイクリングが南会津サポートクラブの主催で行われました。今回のサイクリングは、初日は森林の分校ふざわを出発し、只見線の不通区間の一部を見学。2日目は只見線を使って自転車を只見駅から大白川駅まで輸用し六十里越の紅葉をサイクリングで楽しみました。

2日間とも絶好のサイクリング日和で参加者は秋の景色を楽しみながらも只見線の現状を確認していました。

お マンドリンの美しい演奏を子ども達に 話出てこいチンドン

10月7日、朝日保育所に大学のギターマンドリンクラブOB、OGの方が集まり、昔話の語りにマンドリン合奏を織り交ぜた複合舞台「お話出てこいチンドン」を公演されました。トトロのさんぽや赤とんぼなどが演奏され、子ども達は綺麗な音色に耳を傾け、一緒に歌ったりしてとても楽しい時間を過ごしました。



▲珍しい音色に興味津々の子ども達



▲ご家族と一緒に記念撮影

百 渡部琴子さん(小川) 歳賀寿おめでとうございます

渡部琴子さんが、10月17日にめでたく満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族の方同席のもと知事賀寿の贈呈式が自宅で行われました。賀寿や記念品が菅野南会津保健福祉事務所長や目黒町長から手渡されると、長男の良正さんが「今後も皆さんの支援をお願いします」と謝辞を述べました。

琴子さんの長寿の秘訣は食事は腹8分目にして好き嫌いをしないでなんでも食べるのだそうです。

「南アルプスユネスコエコパークの概要と将来への展望」 9月27日(土)

今年6月に只見ユネスコエコパークと同時に登録された南アルプスユネスコエコパークの現状について、登録にあたりご尽力された増澤武弘氏(静岡大学理学部特任教授)を招き講演をしていただきました。

南アルプスは、静岡県、山梨県、長野県の3県10市町村が含まれる広域のユネスコエコパークで、3,000m級の山々が連なる山岳地帯が核心地域(保護・保全される地域)に指定されています。増澤氏は、長年、高山植物の研究をされており、南アルプスにのみ生育する高山植物の調査研究とその保全対策について、峰に広がる花畑や希少植物、氷河に削られた岩石が生み出す特異な景観などをたくさんの美しい写真とともに、詳しく話されました。しかし、ここ10数年でシカやサルが高山にまで侵入しており、高山植物を守るため防獣ネットの開発や、人による盗掘への対策として高山植物の園芸化による商業価値を下



▲南アルプスの美しい写真とともに説明していただきました

げる工夫を行っているということでした。

南アルプスでは、対象地域が広い住民への周知や関係県・市町村間の情報共有、土地所有者への許可承認などで苦勞をされているとのことで、ユネスコエコパークごとの事情の違いから、只見ユネスコエコパークと只見町の特色を改めて知る良い機会となりました。

「沼ノ平のブナ林を歩く」9月28日(日)



▲天候にも恵まれ素晴らしい景色を見ることができました



▲参加者で記念撮影

澄み渡る青空のもと素晴らしい登山日和に恵まれ、沼ノ平の観察会を行いました。通常はガイド同伴で入山するコースとなっていますので、参加されたみなさんの期待も大きかったと思います。町内、町外合わせて17名の方に参加いただき、前日のブナセンター講座の講師である増澤先生も同行いただき、充実した観察会となりました。

登山口からはゆっくりとしたペースで登り、途中、八十里古道やブナの二次林などの解説を挟みながら1時間半ほどで大きな杉のある山神杉に到着しました。ここから先はブナの巨樹が立ち並ぶ原生林となります。伸びやかなブナの森を歩いているとみなさんの顔からも自然と笑みがこぼれていたように思います。しばらく森を満喫すると、このコースの最大の難所である小三本沢の渡渉へと続きます。幸いにも天気が良く水量が少なかった事に加え、参加者の協力もあり無事に渡ることができました。ここから先の沼ノ平は、3年前の豪雨災害の影響で地形が変化した箇所もありますが、それも自然の力ということで興味深い観察ができたと思います。折り返し地点の風穴では、土石流に埋まった地面からたくさんのブナの実生が芽を出しているのを観察しました。天候に左右されることの多いこのルートですが、今回は大満足の秋の一日となり、参加者からは良かったとの声が多く聞かれました。